

プロジェクト課題No.2 枝もの用クロマツ栽培における若松の 商品化率の向上

対象名：株式会社南三陸
Pine Pro (パインプロ)
計画期間：令和6年度
担当チーム員：◎須藤、村主、門脇



令和3年に収穫した、枝もの用クロマツを使った、お正月の門松飾りを県庁に贈呈して、村井知事と記念撮影

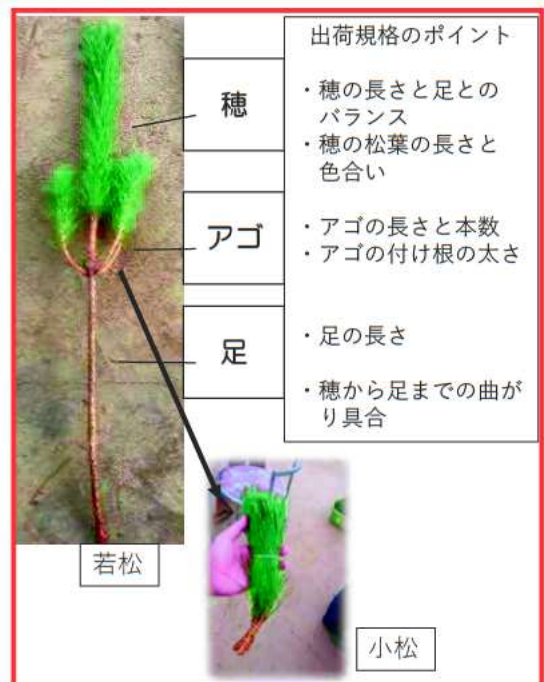
<参考> 枝もの用のクロマツとは？ 若松とは？

○お正月飾り向けの縁起物として欠かせない花材。

○松飾りや生け花等に使用する「若松」は3年、「門松」は4年かけて栽培した主枝のこと。

○側枝は関西の仏花やアレンジ、神棚飾り等の用途で「小松」として出荷。
「小松」は定植2年目から収穫が可能。

○需要に反して既存産地（茨城、兵庫、愛媛）の縮小が続いており、市場からは強く増産を求められている。



1 課題の背景（これまでの結果と課題）

- ・ 若松の出荷本数を令和4年度:32千本/10aから令和5年度:42千本/10aにアップできたが、当初目標:64千本/10aに届いていない。
- ・ 収穫方法、出荷調製作業の改善支援を行ったが作業の安全性や作業効率に問題が残った。
- ・ 収穫前及び出荷用に保管していたクロマツの品質が一部低下した。

3

2-1 今年度の目標

- ① 定植苗の活着率向上と初期生育確保に向けた蒸散防止・雑草対策の理解度が向上し実践される。
- ② 収穫・出荷調製作業の改善による効率化が図られ出荷本数が増加する。
- ③ 品質維持に向けた資材の利用が検討・実践される。
- ④ 10a当たり若松の出荷本数増加
R5: 42千本/10a → R6: 47千本/10a (10%アップ)

4

2-2 今年度の活動事項

- ① 苗活着率向上と初期生育量確保の支援
苗活着試験、除草剤適用拡大試験、自家育苗支援
- ② 収穫・出荷調製作業の改善支援
収穫方法の改善・出荷調製作業の改善を検討
- ③ 生育中及び収穫後の品質向上支援
生育中の葉色改善支援、収穫物保管時の品質向上

5

3 これまでの活動と成果1

- ・ 苗活着率向上と初期生育量確保の支援

試験概要

試験場所 : 気仙沼市小泉ほ場

試験開始日 : 令和6年4月18日

供試資材 : ①エンバイロコン、
②ハイポネックスリキダス
③メネデル、④水

試験区面積 : 1区 $2\text{m}^2 \times 4\text{区} \times 2\text{反復}$ 8区 = 16m^2

散布量 : 1m^2 当たり1リットル

処理量 : ①500倍希釈 ($2\text{ml}/\text{m}^2$)、②100倍希釈 ($10\text{ml}/\text{m}^2$)
③100倍希釈 ($10\text{ml}/\text{m}^2$)、④1リットル/ m^2



令和6年4月8日で小泉ほ場の定植完了
赤丸の部分で試験実施

6

資材名	 エンバイロコン	 ハイポネックス リキダス	 メネデール
分類	<u>バイオスティミュラ ント資材</u>	<u>植物活力剤</u>	<u>発根促進剤</u>
製造会社	アイティーエヌ株式 会社	株式会社ハイポネック スジャパン	メネデール株式会社
使用目的	土壌改善、 根の成長 促進 、収量増大	カルシウム欠乏予防、 根の成長促進 、暑さ・ 寒さの抵抗性向上、	発根促進 、植物の活力 アップ
主要成分	銀イオン 、亜鉛イオ ン、マグネシウムイ オン	コリン・ フルボ酸 ・ア ミノ酸	二価鉄イオン

7

バイオスティミュラント資材とは

- 日本バイオスティミュラント協議会のホームページでは

日本語に直訳すると「**生物刺激剤**」で、肥料や農薬とは異なり、近年、ヨーロッパを中心に利用されている**新しい農業資材カテゴリー**。

植物の健全さ、ストレスへの耐性、収量と品質、収穫後の状態及び貯蔵などについて、植物に良好な影響を与えるもの。

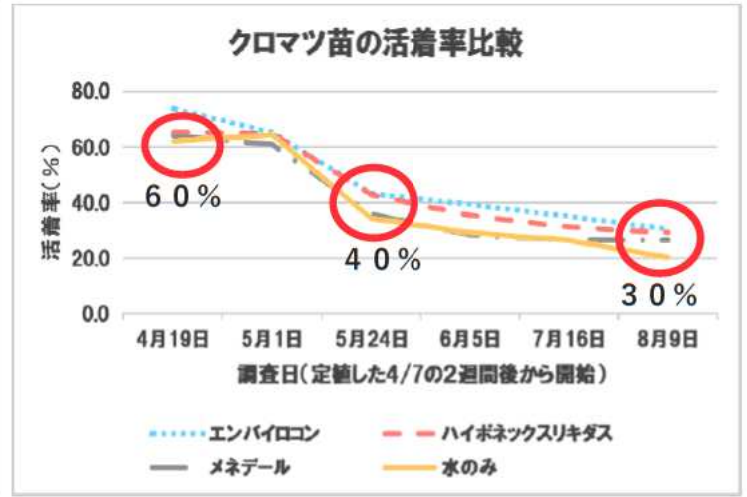
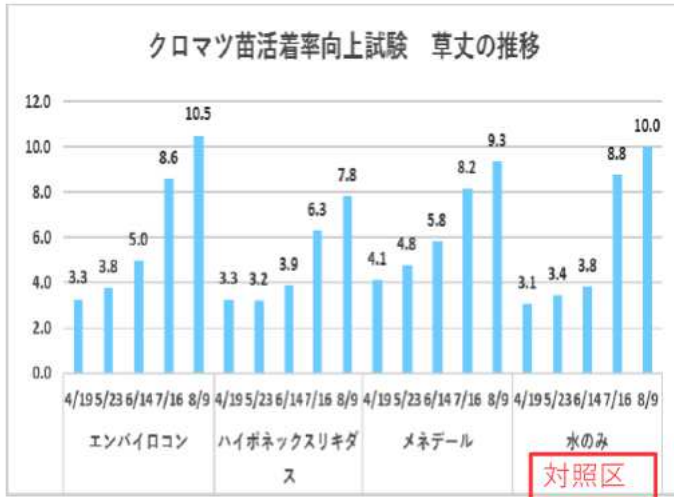
と記載されています。

8

3 これまでの活動と成果1

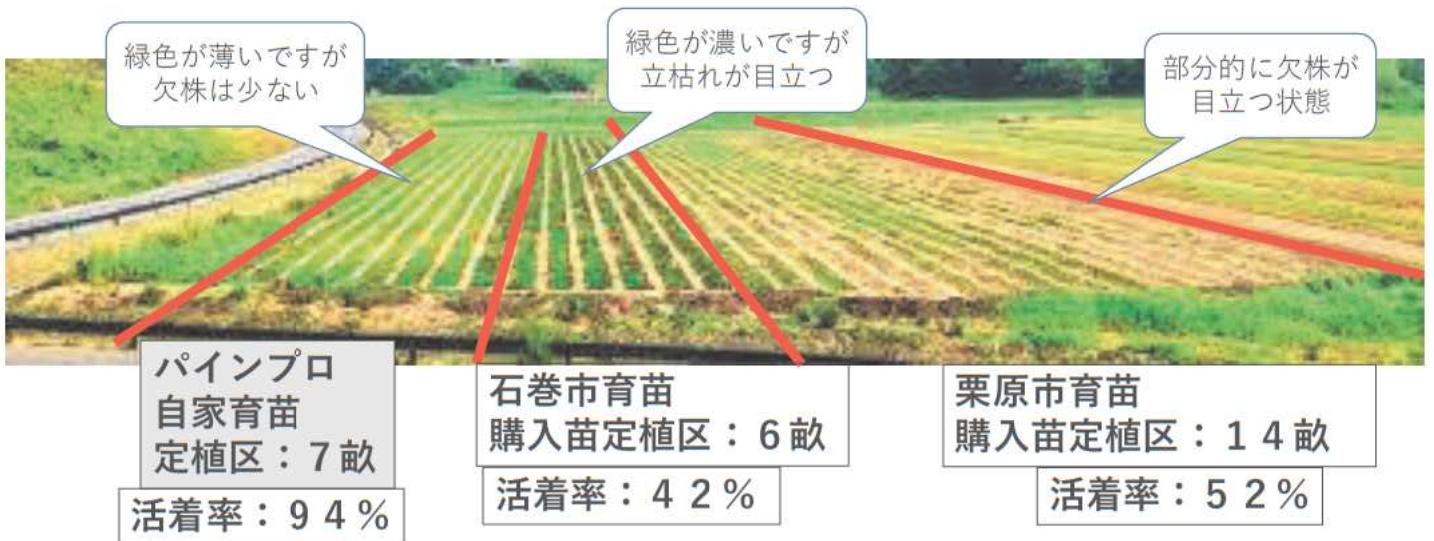
試験の途中経過

棒グラフは資材散布後の草丈推移、折れ線グラフは活着率の推移



3 これまでの活動と成果1

追加調査：1 畝毎に1 5 m間の活着苗を数え活着率を算出



3 これまでの活動と成果2

・ 苗活着率向上と初期生育量確保の支援

⇒ 令和5年度から継続して行っている、除草剤の適用拡大試験



散布前：フキ



散布：5月29日
シバゲンDF散布



散布後：フキ



無処理区は雑草が繁茂状態



散布前：メマツヨイグサ

散布後：6月27日

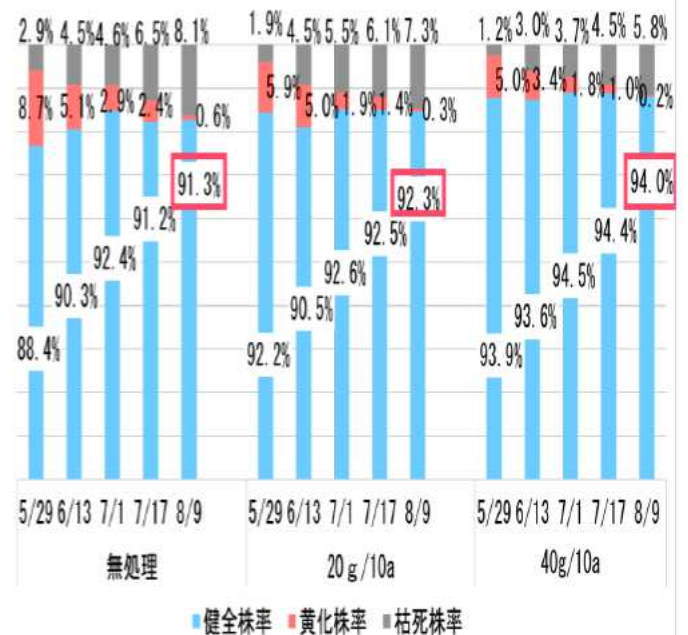


散布後：メマツヨイグサ

除草剤散布後の草丈推移



除草剤散布後の健全株等割合



3 これまでの活動と成果3

- 苗活着率向上と初期生育量確保の支援
⇒ 自家育苗による健全な苗作り



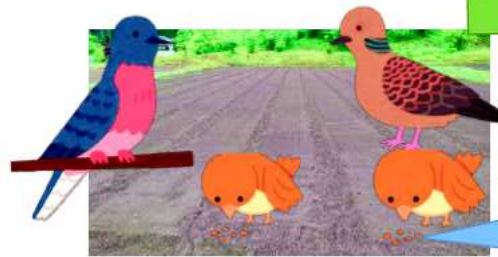
この播種機なら、播種から覆土・鎮圧までできるぞ！



結果、覆土・鎮圧がうまくいかずタネが見える状態に



播種した翌日大雨があり覆土されない種が地面に浮かび上がる状態



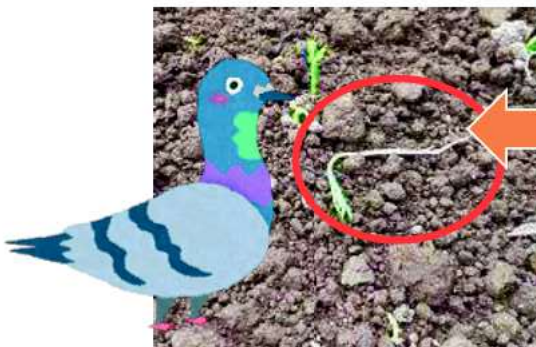
美味しい、美味しいと野鳥が食べ尽くす事態



再播種し、覆土したほ場



きれいに芽が出たのですが



野鳥に抜き取られた苗の姿

5 対象者からのご意見

定植するための苗の鮮度が、活着やその後生育に大きな影響を与えることが改めて確認できた。

除草剤の試験は昨年度と同様の効果を示しているので、早く登録拡大してもらいたい。

鳥害にはとにかく悩まされた。ほ場のローテーション、鳥害対策技術など今後も検討していくので協力してもらいたい。

(株式会社 南三陸Pine Pro (パインプロ) 代表)